

SINCE  
**1919**  
YEARS



**日本ガイシ**

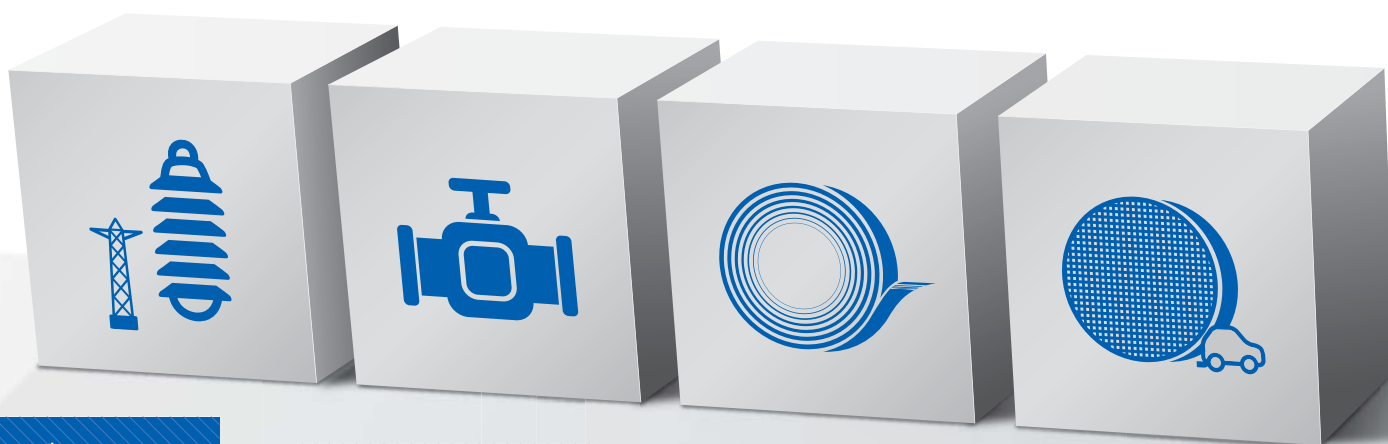
NGK Report 2018



# 独自のセラミック技術で、 社会に新しい価値を提供します

日本ガイシグループは、セラミック技術をコアテクノロジーとして、エネルギー、エコロジー、エレクトロニクスの事業領域において、電力関連事業、セラミックス事業、エレクトロニクス事業、プロセステクノロジー事業を展開し、社会のニーズに応え続けます。

## 当社の主要製品



### がいし

送電線を支え、鉄塔や機器との間を確実に絶縁するがいし。揺るぎない品質と技術力が、安全で確実な電力供給を支えています。

### 産業用機器・装置

セラミック製造で培った技術で、焼成炉からポンプやバルブ、低レベル放射性廃棄物処理装置まで、幅広い分野の産業用機器・装置を提供しています。

### ベリリウム銅

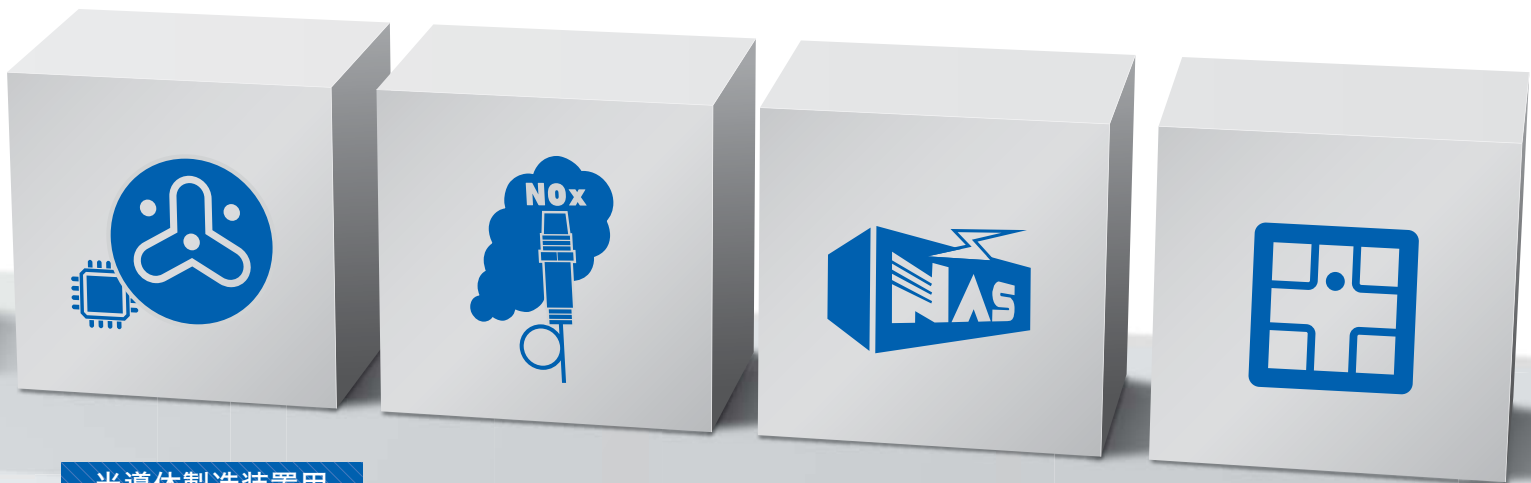
銅の特徴である導電性や熱伝導性に加え、高い強度と耐久性を兼ね備えたベリリウム銅合金は、携帯電話や自動車、産業機器などに幅広く活用され、信頼性向上や小型・軽量化に貢献しています。

### 自動車排ガス浄化用セラミックス

自動車排ガス中の有害物質を無害化する触媒を保持するためのセラミック担体。少ない体積で広い面積を確保できるハニカム(ハチの巣)構造になっています。

## CONTENTS

|                   |    |                            |    |
|-------------------|----|----------------------------|----|
| イントロダクション         | 01 | ・エレクトロニクス事業                | 37 |
| 日本ガイシグループの歴史      | 03 | ・プロセステクノロジー事業              | 41 |
| 日本ガイシグループの価値創造    | 07 | CSRマネジメント                  | 45 |
| 競争力の源泉            | 09 | 地球環境の保全                    | 47 |
| トップメッセージ          | 11 | 社会との共生                     | 51 |
| 日本ガイシグループの財務      | 17 | コーポレート・ガバナンス               | 55 |
| At a Glance       | 19 | 5年間の主要財務データ                | 66 |
| 財務・非財務サマリー        | 21 | 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 | 67 |
| 特集・3,000億円投資の現場から | 25 | 連結財務諸表                     | 71 |
| 事業概況              |    | 会社概要・組織図                   | 76 |
| ・電力関連事業           | 29 | 国内外拠点・子会社                  | 77 |
| ・セラミックス事業         | 33 | 第三者意見                      | 78 |



**半導体製造装置用  
セラミックス**

セラミックスの特長を生かし、高温の腐食性ガスやプラズマなどにさらされる半導体製造プロセスにおいても安定した性能を発揮するセラミック製品を提供しています。

**NOxセンサー**

自動車排ガスに含まれるNOx(窒素酸化物)濃度を高精度にリアルタイムに測定できる、世界初の車載用センサーです。

**NAS<sup>®</sup>電池**

大容量・高エネルギー密度・長寿命を特長とする大容量蓄電システム。再生可能エネルギーの普及やスマートグリッド(次世代送電網)の構築に役立てられています。

**電子・電気機器用  
セラミックス**

通信品質の高度化や高速化を実現する複合ウエハーや、ハードディスクの大容量化と高信頼性を両立させる圧電マイクロアクチュエーターなど、エレクトロニクスの高度化に貢献しています。

**編集にあたって**

**編集方針**

「NGK Report 2018」は、当社グループの強みや価値創造プロセス、成長に向けた戦略に加え、どのように地球と社会の持続的発展に貢献するかを、ステークホルダーの皆さまにお伝えするものとして発行しています。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」を参考にしました。なお、ESG情報の詳細については「NGK Sustainability Data Book 2018」で報告しています。

**対象組織**

事例ごとに異なるため、報告記事とデータに明記しています。

**対象期間**

2017年4月1日～2018年3月31日

**将来予測に関する記述について**

本誌に掲載している業績見通しなどの将来予測に関する記述は、当社が現在入手している情報や合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績はさまざまな要因によって異なる結果となりうることをご承知おきください。